

我が町の協力隊

～今後の展望について～

松葉知香

森町地域おこし協力隊新聞



Q.現在の活動のさらに先の展望について

まだまだ迷走中ですが、約一年間の協力隊活動を通してやってみたいことがフツフツと…

01 特産品開発の環境整備とブランド化

既にあるビールやジャムといった商品のブランド化を進めるとともに、加工自体も森町内でできるような環境を整えていきたいです。もちろん新商品も随時考えていきます。

02 中山間の新アクティビティ考案

森町の山間部にもっと気軽に若い人が遊びに来てほしい!と、思っています。若い人がきて、滞在してくれるためのコンテンツとして「手ぶらでピクニック」をできる環境作りをしていきたいです。ピクニック以外にも自然を気軽に楽しめるコンテンツを企画していきたいです。

03 森町でデザイン事務所を開く

現在考えているようなことを続けていくためにも「器」になるような組織が必要そうだなと思っています。現行の自分たちの活動だけでなく、これから先、森町で何か新しく始める人のお役にも立てたらうれしいです。

他にもまだまだ…

やってみたいことリスト

古道具屋さんになってみたい/事実証談×納涼祭/オリジナルソフトクリームを開発したい/たまどん(鍛冶島交流拠点)で立ち飲み屋さんをやりたい

2月の活動報告

佐野

- 友田家関連
田んぼ整備
- ゲストハウス関連
ゲストハウス床張り、トイレ設置
- 手仕事関連
葛布の会参加
- イベント関連
山ノ上ノ音楽会 vol4 企画運営

横山

- 移住定住相談
移住相談、物件案内
- 交流田んぼ
水源、水路再生、水張り、動物避け柵づくり
- 関係人口創出
地域プロデュース講座@熱海、蛸みこし森町 PR 撮影
- イベント
生ゴミコンポスト「モリッポ」展示会、庭造り WS

松葉

- 商品開発関連
栗ビール・栗ジャムの準備
- 広報関連
協力隊新聞編集作業
- 関係人口創出
静岡文化芸術大学4年生卒制×地域とのマッチングサポート、鍛冶島交流拠点整備
- その他
地域引力創出事業オンライン研修

岩瀬

- 移住定住相談
移住・店舗相談
- 空き家の調査
三倉大久保地区
- 空き家活用推進
旧レコード店改修、鍛冶島交流拠点整備
- 関係人口創出
地域プロデュース講座
@熱海、蛸みこし森町 PR 撮影

令和5年(2023年)

3月

第9号

メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香 (パチカ)

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課



僕と森町 — 時々オトン —

僕ら家族は、自然とつながる暮らしを求めて、いろいろな土地を巡り森町に出逢った。

地域おこし協力隊になり、地域の活動や町の取組に参加したり、いろいろな人たちに助けってもらい、いろいろな経験をさせてもらっている。住まいを作り、薪を割り、お米作りや水源の保全など自然とつながる暮らし作りにも奮闘している。

おとんは、そんな僕の生き方に対し、「思うようにやっただらええ」「わしにはできない生き方や、素晴らしい」と背中を押してくれ、森町に足を運んでくれるようにもなった。

そんな森町で、昨年5月におとんの落語の会が実現した。そこには、おとんを囲む人たちと、温かい笑顔が溢れていた。自分の人生を生きよう！と背中であげてくれたおとんと、僕の人生が重なったような日だった。その後、会場が中島みゆきの「糸」が演奏された。これまでの模索しながら歩いてきた自分やおとんの道のりを思い、なんだか目頭が熱くなった。

「逢うべき糸に出逢えることを人は仕合せと呼びます」

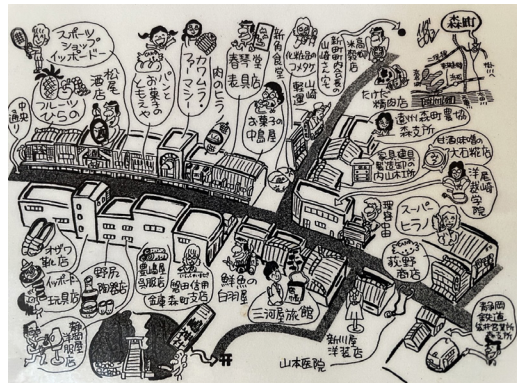


横山春人

僕にとって森町は、そんな糸だったのかもしれない。おとんの背中を見ていなかったら、きっと出逢えてなかったと思う。「ありがとう、おとん。」森町にきて素直にそう言えるようになった。ともに歩んでくれている家族や、応援してくれているおかさん、温かい周りの人たちにも感謝の気持ちを大切に、ここから一歩ずつ、この町で歩んでいきたい。

移住コーディネーター通信

移住コーディネーター
岩瀬進哉



協力隊の活動記録

地域おこし協力隊
さのしょう 佐野祥

1月の新月に、春野町で自伐型林業や循環型農業に従事する方を招き「木を知る講座」を開催しました。会場は亀久保集落の友田家住宅。午前中は、木はそもそもどんな生き物なのか？から始まり、土の下の仕組み、山の役割や機能などを学びました。午後は実際に梅の木を剪定しながら、多収を目指すのではなく一般の方が身近にある樹木と付き合っていく方法を考えました。

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

森町役場（定住推進課）

0538-85-6321



秋葉街道の宿場町として栄えた森町。かつては「森の横町なせ日が照らぬ、秋葉道者の笠のかげ」と伝えられるほどの賑わいがあったそうです。森地区の本町から城下にかけて、昭和の終わりくらいまでは多くのお店が立ち並んでいたと聞きました。私が住んでいる新町にもスーパーマーケットに農協の森支所、洋裁学校まであったそうです。時代の流れとともにお店の数も少なくなりましたが、今でもそれぞれのお店でおいしいスイーツや、お味噌や甘酒などが購入でき、

人情味のあるこの商店街が私は好きです。森町に移住して6年半も経ちましたが、外から来た私にとっては神社にお参りしたり、路地裏を歩いたりするだけで、今でもいい町だなあとしみじみ思っています。週末に森町を訪れる大勢の方々が、商店街の魅力あるお店たちを巡り散歩する。そんな日が来るように少しずつ空き店舗にお店を増やしていきたいと思っています。

画像引用...

昭和58年5月2日 中日新聞記事